

科目名	<b>社会保障論</b>	科目分類	■専門科目群 (第1グループ) □総合科目群 (第2グループ)
			経済学科 □必修 ■選択
			学科 □必修 □選択
英文表記	<b>Social Security</b>	開講年次	□1年 ■2年 □3年 □4年
ふりがな	ふじもと つよし	開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中
担当者名	<b>藤本 剛</b>	修得単位	<b>2単位</b>
授業のテーマ	社会保障制度の基本を理解し、公的年金、企業年金、公的医療保険・介護保険等の現状と課題を考える。		
到達目標	健やかで豊かな暮らしを実現するために何が必要か。将来に向けた取り組みを考察する。		
授業概要	20歳になると学生であっても、国民年金の保険料を納める義務が生じます。特例制度の適用申請を行って、とりあえずは納付を先延ばしした人もいられるでしょう。老後や障害に備えた保障の準備は国民に求められています。病気や怪我に対する備えも同様です。社会保険のシステムを用いた社会保障制度は国民の豊かで健やかな生活の実現を目指しています。制度は複雑で変化も大きいですが、現状は？将来は？さまざまな課題がある中で、私たちの将来を共に考える科目です。		
授業計画			
第1回	社会保障とは何か、その歴史と背景		
第2回	社会保障の体系、社会保険について		
第3回	雇用保険①		
第4回	雇用保険②、労働者災害補償保険		
第5回	公的年金制度① (制度と内容1)		
第6回	公的年金制度② (制度と内容2)		
第7回	公的年金制度③ (制度と内容3)		
第8回	企業年金① (制度と内容)		
第9回	企業年金② (現状と課題)		
第10回	公的医療保険① (制度の概要)		
第11回	公的医療保険② (国民健康保険)		
第12回	公的医療保険③ (組合健康保険、協会けんぽ)		
第13回	公的医療保険④ (DPC、薬事)		
第14回	公的介護保険① (制度の概要)		
第15回	公的介護保険② (現状と課題)		
第16回	定期試験		
授業時間外の学習	授業の予習・復習を心がけてください。(0.5時間程度) 授業で取り上げるテーマに関連するレポートやメッセージを求めることがあります。		
履修条件 受講のルール	日頃からテレビや新聞などで、年金や医療保障、雇用保険など社会保障に関する情報に関心を持ってチェックしてください。(0.5時間程度)		
テキスト	プリントを使用します。		
参考文献・資料	『公務員Vテキストシリーズ 社会政策』第12版 TAC出版 『厚生労働白書』各年版		
成績評価の方法	【レポート(30%)、定期試験(70%)】 上記評価項目を基にして総合的に判断します。 ・出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。 ・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。 ・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。 ・レポート課題は授業内又は掲示板で指示します。		

オフィスアワー	毎週火曜日・水曜日 16:00～17:00 ※これ以外の時間帯は必ず事前に予約してください。
成績評価基準	平成28年度（2016）以降に入学した学生 秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下) 平成27年度（2015）以前に入学した学生 優(100～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
学生へのメッセージ	社会保障制度は複雑で、また毎年のように変化しています。現状を理解することが、将来に備える上で重要であることを意識して、積極的に取り組んでください。